



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.9 令和7年11月28日発行

勉強の楽しさ

校長 廣瀬 巧

「つまね〜」

昔、私が小学1年生を担当していた時のこと。入学間もない1年生の入学後初めての体育の学習でのある子のつぶやきです。並び方などを確認や、整列や行進の学習でした。自分なりに工夫して、後半に楽しい時間も用意していたつもりでした。冒頭の子つぶやきは、列を崩さずに揃って歩く活動で、体育館を半分ほど回った際に出た言葉でした。時間にしても1〜2分くらいでした。工夫も配慮も足りなかったのかもしれないと反省しつつも、行進をもっと楽しくするってどうすればいいんだろうと思ったりもしました。

自分が小学2年生の体育では、3回ほどの授業で、笛と号令に合わせて、前へならえ、気をつけ、休め、1列、2列、3列と縦に並んだり、横に並んだりを繰り返して行いました。自分ではできていると思っても、「そろってない」「おそい」なんて言われると楽しくはありませんでした。

それに比べれば…と思うのは全く自分の都合なので、授業はよく考えたつもりだったのにうまくいかなかったという話です。

ご家庭で、お子さんが小さかったころ、食べ物の好き嫌いがあった時にどうしましたか。おいしいんだよ〜とお話ししたり、おいしそうに食べてみたりしましたか。もしかしたら、毎日同じものを出したり、食べるまで遊んじゃダメなどと言ったりしたかもしれません。いろいろなことを試しながら自分やお子さんにあった方法を見つけたと思います。

真龍小学校の先生方もそれぞれに持ち味や個性を発揮しながら授業をしています。子ども達も課題をやり遂げようと、時に楽しく、時に真剣に、時に悩んでいます。子どもがずっとタブレットを操作している姿もよく見ます。感覚的に操作ができるようになるのですから、すごいと思います。学ぶ価値を感じているのでしょう。教師にすればつい、漢字や英語の意味が分からないとつまづくのではないかと、タップやスライドなどの用語も正しく教えないとなどと考えますが、当の子どもは感覚で身につけていたりします。それならば、と教科の学習で感覚的に考えてほしいと質問しても、わからない…となることもあります。どんなことでも一つの方法で全員に満足いく手法はないものです。教師は子どもに合った学習となるよう考え授業をするのが仕事ですが、時にうまくかみ合わなかったりすることもあります。そんな時は、次の授業のためにまた作戦を立てます。もちろん真龍小の先生も熱心にそれを行っています。子ども達にしてみても、毎日の学習の中では、楽しいと感じることばかりではないかもしれません。それでも何とか考えよう、やり遂げようという意欲はついでることなく頑張っています。

勉強が面白い、楽しいと感じるのは、わかった、できたに加えて、先生と子どもの思いがうまく重なった時に、特に強く感じられるのかもしれません。そのためには、教師の準備だけではなく、子ども達のパワーも必要です。端的な言葉で言うとやる気、根気というものでしょうか。毎日の学習で発揮して成長することを願っています。

ご家庭で学校の様子を聞く際には、お子さんがどんなことに楽しさを感じているのか、それが続くためにはどんな心がけが必要と考えているかなども聞き取っててください。お子さんが学校で感じていることの理解がさらに深まるかもしれません。

日	曜	12月の主な行事
1	月	講話朝会 学校評価アンケート(～12日)
2	火	短縮日課 厚岸町標準学力調査
3	水	郵便教室(2・5年)クラブ
4	木	短縮日課 読み聞かせ(2年生) 薬物乱用防止教室(6年)
5	金	短縮日課
6	土	
7	日	
8	月	児童朝会(保健) 校内作品展(～16日)
9	火	短縮日課 避難訓練(火災) 参観日(1～3年)
10	水	参観日(4～6年)
11	木	短縮日課 4時間授業日
12	金	短縮日課 3年校外学習(コンクリエ)
13	土	
14	日	
15	月	大掃除週間～23日
16	火	短縮日課 喫煙防止教室(6年) 冬休み図書貸出(高学年)
17	水	冬休み図書貸出(低学年) 児童委員会
18	木	短縮日課 冬休み図書貸出(中学年) スクールカウンセラー来校日
19	金	短縮日課 厚岸町子ども未来ミーティング(オンライン)
20	土	
21	日	
22	月	児童朝会(生活)
23	火	短縮日課
24	水	後期第1ステージ終了 講話朝会
25	木	冬季休業開始(～1/15)
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	学校閉庁日
30	火	学校閉庁日
31	水	学校閉庁日

「ながら見守り」のお願い

12月の帰宅時刻 16:00
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

本の世界へようこそ！ブックフェスティバル

11月18日、1～3年を対象にブックフェスティバルが開催されました。体育館には約1000冊の本がずらりと並び、子ども達は楽しい本の世界に胸を躍らせて参加しました。まず、読み聞かせボランティア「ちいさな絵本箱」の皆様によるお話に静かに耳を傾け、その後、厚岸町本の森情報館の皆様のご協力のもと、12月の朝読書で使う本を1人5冊まで選びました。会場では、普段公開していないしかけ絵本を楽しむ姿も見られました。準備にご尽力いただいた情報館の皆様、読み聞かせボランティアの皆様、ありがとうございました。



5年生 総合的な学習「福祉」～生きがい大学との交流を通して～

本校5年生は、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとして探究的な学習に取り組んでいます。11月5日、生涯学習課のご協力により、町の「生きがい大学」の皆さんとの交流活動を行いました。生きがい大学とは、町内在住のおおむね65歳以上の方を対象に、社会の変化に応じた教養や生活技術を学び、生きがいのある生活を送ることを目的として設置されている学習の場です。

交流会では、5年生が自分たちで考えたゲームや体を動かす活動を一緒に楽しみ、関わり方や声のかけ方を工夫しながら、相手を思いやる姿が多く見られました。活動後の振り返りでは、「高齢の方によって、好む活動は違つたと分かった」「ゆっくり話すと気持ちが伝わりやすかった」など、大切な気づきがたくさん生まれました。

今回の学習を通して学んだことを、これからの探究や地域への関わりに生かしていきます。ご協力いただきました生きがい大学の皆様、ありがとうございました。



いじめ防止対策委員会の活動から

11月に今年度第2回目のいじめアンケートを行いました。今回も「あなたは、嫌な思いをしたことがありますか」という質問する形で行われました。このアンケートの結果、

「4月から嫌な思いをしたことがある」
→18人(第1回目24人)

また、その内訳は、

冷やかしかからかい、悪口をいわれる	9人
仲間はずれや無視をされる	1人
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	8人
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	0人
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	0人
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	0人
メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする	0人

アンケートをもとに、担任が全児童と個別面談を行い、「どんな嫌な思いをしたの?」「今後どうしたいと思っている?」「先生にできることはある?」と丁寧に聞き取り、必要な支援につなげています。また、校内いじめ防止対策委員会でもケースごとに情報共有を行い、組織的に対応できる体制を整えています。

学校では、担任を中心として多くの教職員が、嫌な思いを抱えている子や困り感のある子に寄り添い、話を聴き、心理的安全性の確保に努めております。さらに、スクールカウンセラーによる教育相談(保護者の方の相談も可)も随時受け付けています。お子さんのことで気になることがありましたら、どうぞ遠慮なく学校までお知らせください。

電話相談紹介カードイメージキャラクター募集のお知らせ

先日、全校児童に「北海道子ども相談支援センター電話相談紹介カード」のイメージキャラクター募集用紙を配布しました。採用作品は来年度のカードやポスターに使用され、全道の子どもたちに紹介されます。応募は配布済みの用紙に記入し、担任へ提出してください。

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『このあと どうしちゃう』

ヨシタケシンスケ(ブロンズ新社)

真龍おはなし隊 藤井 ひとみ

普段は中々触れる事のない死をテーマにした、ヨシタケシンスケさんの本です。

誰だっていつか必ず死んでしまうし、でもそれがいつかもわからないから大切な事だけ中々難しい死についての向き合い方。タイミングや伝え方も考えてしまいます。

息子が小1の時に同居していた義父が亡くなり、初めて人の死と向き合った時、現実が理解できず、大人のように悲しむより死に対する恐怖と戸惑いいっぱいな時に読んであげました。

どうしようではなく、どうしちゃうという言葉のチョイスだけでも、ヨシタケシンスケさんらしい優しい寄り添い方だと思います。

死に対する意識が変わり、気持ちも軽くなり、読み終わる頃には私も息子も癒され、ワクワクが変わっていました。

大人には、大切な人に気持ちを伝えるためにも自分自身と向き合い、納得のいく終活をしっかりと考えるべき!と、子どもとはまた違った感情が湧いてくるでしょう。

大人にも子どもにも、今生きている人生の楽しみを教えてくれるおすすめの本です。

学校図書館、厚岸情報館に所蔵があります。

